

# 清友

No. 47

2013年7月



珊瑚刺桐とドコモ代々木ビル

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

# 反自民 反壊憲 反原発

## 大企業優遇・安倍政権の 暴走を止めよう！

参議院選挙は7月21日が投票日です。

「日本を元気にした」と豪語する安倍政権は「ねじれ国会解消」を目指しています。アベノミクスで儲けているのは大手輸出製造業と金融機関・株主だけで、生活者や中小零細企業には円安が大きな負担となっており、雇用も賃金も改善されていません。先進国中最悪である子どもの貧困率

はむしろ上昇し、格差と貧困は深刻な事態になっています。

安倍政権は、大企業を守るため、食と健康を破壊するTPPへの参加を表明し、原発再稼働を既定路線化しています。その一方で16万人もの原発事故避難者が切り捨てられようとしています。

参議院選にあたり、東京清掃は相原久美子さんを推薦しました。自治退都本部はあわせて大河原さんを推薦しています。その他、比例区ではユニオ

では、脱原発を訴え続けている俳優の山本太郎さんを応援する活動を行っているとの報告が会員から上がっています。退職者会は、相原さんをはじめ氏名掲載の候補には頑張ってもらいたいと思っています。

自民党が衆参両院で過半数となると、改憲など右傾化の道に突き進む危険性が高まります。自民党とその別働隊の改憲政党に「NO!」を。



代表質問  
～参院本会議～

自治労組織内候補  
相原久美子議員

- 比例区  
相原久美子 (民主)  
鴨 桃代 (社民)  
山城博治 (社民)
- 東京選挙区  
大河原雅子 (無所属)  
山本太郎 (無所属)

ん、東京選挙区承する山城さんと自治労出身で沖縄の良心を継ぐ。その他、比例区ではユニオン出身の鴨さんと自治労出身で承する山城さん、東京選挙区



脱原発国会包囲行動

都庁退職親睦交流会に参加して

都庁職員退職者連合会（都庁退）主催の親睦交流会が、6月10日に行われ、サクランボ狩りと温泉を楽しんで来ました。今回の参加者は、戸張副会長、小泉監査、吉田幹事の3名でした。

一路山梨へ向かうバスの中で、花輪会長が「今日は難しい話は止め、楽しい和やかな交流であって欲しい」と挨拶。続いて、事務局よりサクランボ狩りについて説明がありま



「笹一酒造」太鼓前で記念撮影



戸張副会長

した。サクランボ農家との交渉で通常1種類の試食が、高砂・佐藤錦・紅さやか・ナポレオンの4種類に、試食時間も通常30分のところ1時間へ延長になったとの報告に参加者全員が拍手。報告のとおり本当に大満足の内容でした。

次は温泉。車窓に甲斐の山々が連なり、それが過ぎ一面のブドウ棚が並ぶ景色が目にと映ると目的地の「天空の湯」に到着しました。昼間の温泉とアルコールは最高の気分です。単会の仲間との交流も大いに盛り上がりました。

その後、昨年と同様笹一酒造の見学と試飲。社長の計らいで記念写真の後、即試飲となった為、日焼け顔の方が多く見られました。

帰りのバスは、良い気分です。眠気を催す人や楽しく交流する人など思い思いに過ごしました。今回の都庁退職親睦交流も大いに有意義でした。（戸張）

笑いでピンピンコロリ人生

自治退関東甲地域学習会

自治体退職者会関東甲地域学習会が5月14日（15日、オークラ千葉ホテルで開催されました。1日目は、福田自治退会長による「当面する情勢と自治退組織の拡大・強化」の報告と、川端自治退事務局長から「税制改革の動向と課題」の提起が行われ、続いて黒崎自治退会計が「自治退保険事業の推進」「25万自治退の建設と福利厚生活動の強化」について提起。25万自治退建設と自治退保険事業の推進を、車の両輪のように進めることを確認しました。

2日目は、日本笑い学会江見明夫氏の「笑い」と健康」講演。PPK（ピン・ピン・コロリ）人生は、悲しい時・苦しい時・辛い時は泣き、その後笑い、心もすっきり。笑いの種類には笑顔、ユーモアなど大・中・小があり、笑うことは脳によく、健康法だとのお話し。会員のみなさんも大いに笑い、PPKをめざしましょう。

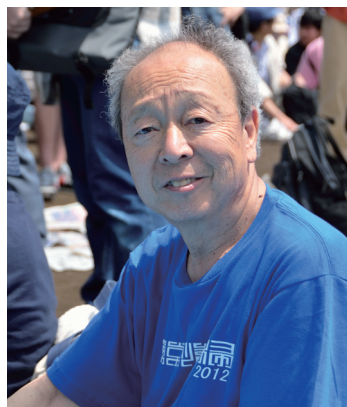
訃報

大久保三郎さん逝去

元東京清掃委員長の久保三郎さんが6月15日に亡くなりました。

しかし、残念なことに病状回復には至りませんでした。享年72歳。サブちゃん、安らかに眠りください。

1月23日の東京清掃本部旗開きでは鏡割りをやり「まだ働いている」と元氣そうでしたが、定期総会案内に対する返信（4月30日付）で「体調悪く入院予定」との記載がありました。心配で何回か連絡をとり、その後、会長はじめ多数の会員が見舞いに行きま



昨年の中央メーデーにて

# 横浜清掃環境友の会 50周年祝う会



福士会長（主催者挨拶）

5月26日、横浜市環境支部退職者会「環境友の会50周年を祝う会」が、横浜清掃会館3階大会議室で会員約100名が集い盛大に開催されました。主催者を代表して福士会長は「戦前・戦後の苦難を乗り越え、市民生活向上のための清掃事業を確立し、職員の身分や待遇面を改善、職業差別などを克服するとともに、昭和37年に清掃友の会を結成して、今日まで50年の歴史を積み重ねてきた諸先輩の努力に敬意を表する。さらに次の50

年に向けて新しい一歩を踏み出していきたい。」と、決意を込めて挨拶しました。続いて、横浜出身の福田自治労退職者会長、相馬横浜市従退職者会長、国会議員・祝辞がありました。

乾杯の発声に合わせ、尺八の演奏で歓談に入り、横浜市学校給食退職者の皆さんが協力してつくった手料理を囲んで旧交を暖めあう輪が閉会まで続き、時間の経過を忘れるほどの素晴らしい会でした。この祝う会に北條会長、庄司事務局長が出席し、交友を深めました。そして、関東の清掃労組OB会があつてもいいとの思いをいただきました。

## 退職者会 活動日誌

- ＊4月17日の第6回幹事会以降6月24日の第1回三役会まで
- ▼4月17日、自治退都本部幹事会。庄司事務局長（常幹）、小林事務局次長（幹事）が参加。当面の取組みを確認。
- ▼4月19日、自治労年金集會に北條会長と柳副会長が参加。内容は5月号給与引下げ強制反対！東京清掃学習決起集會に柳副会長、庄司事務局長、戸枝會計が激励。
- ▼4月22日、都庁退幹事会。庄司事務局長（幹事）が参加。当面の取組みを確認。
- ▼4月26日、建設退定期総会・懇親会に庄司事務局長が参加。
- ▼4月28日の中央メンバーは取材含め5名参加。5月1日の日比谷メンバーは家族含め22名参加。集會の様子等は5月号参照。
- ▼5月7日、年次會計監査。岩淵監査と小泉監査が対応。
- ▼5月10日、都庁退組織強化対策単会会長會議と10周年実行委員會に北條会長が参加。
- ▼5月11日の東京清掃ボウリング大会に戸張副会長、柳副会長、岩淵監査、馬鳥幹事が参加し大奮闘。
- ▼5月14日、福祉退定期総会・懇親會に戸張副会長が参加。
- ▼5月14日、15日に自治退関東甲地域学習會。庄司事務局長が参加。内容は別記報告のとおり。
- ▼5月15日、首切り自由を許さない！霞が関大行動。3名が自主参加。
- ▼5月16日、總會議案書印刷・製本。北條会長、戸張副会長、庄司事務局長、小林事務局次長、戸枝會計、岩淵會計監査、吉田幹事が対応。
- ▼5月23日、狭山事件の再審を求める市民集會。家族含め8名参加。
- ▼5月23日、主税退定期総会・懇親會に庄司事務局長が参加。
- ▼5月24日に第6回定期総會。會員40名参加。懇親會には38名参加。内容は6月号参照。
- ▼5月26日、横浜清掃環境友の会50周年祝う會。北條会長と庄司事務局長が参加。内容は別記報告のとおり。
- ▼6月2日、つながろうフクシマ！さようなら原発集會と反原発国☆会大包围。家族含め6名が自主参加。
- ▼6月4日、5日に自治退都本部学習會。北條会長、柳副会長と庄司事務局長（常幹）が参加。内容は次号で報告予定。
- ▼6月10日、都庁退親睦交流會に戸張副会長、小泉監査、吉田幹事が参加。内容は別記報告のとおり。
- ▼6月16日、東京清掃組織集會。小林事務局次長と戸枝會計が参加。内容は別記報告のとおり。
- ▼6月24日、第1回三役會。組織強化対策等中期展望課題を中心に議論。
- ▼事務局會議・事務業務は16回。
- ▼その他、庄司事務局長が自治退都本部業務に参加。

## 闘いの共有化をめざして

### 東京清掃組織集会開催



組織づくりの原点を熱心に語る講師の話は、若い人が多い参加者に勇気を与えたようです。

集会には小林事務局長と戸枝会計が参加し、「区移管以降、特に定数減など厳しい状況にある現役世代の闘いに退職者会としてもできる限り支援する。これからも、東京清掃の一組織として、全日制市民の立場を活用し運動に協力する。」旨エールを送りました。しかし、大久保元委員長の葬儀の関係もあって初日のみの参加としたため、肝心の分散会議論を直接聞くことはできませんでした。

東京清掃は6月16日～17日に、箱根路開雲で第38回組織集会を開催しました。

集会の冒頭、6月15日に逝去した大久保元委員長に対する感謝と冥福を祈るため参加者全員で黙祷を捧げました。

吉田委員長の挨拶、来賓の金澤全労協議長、退職者会小林事務局次長の激励と連帯の挨拶に続き、染書記長の基調提起と瀧副委員長の組織財政健闘状況報告。その後、元国鉄闘争支援中央共闘会議副議長山下俊幸さんが「労働運動の再生と組織強化に向けて」と題し講演しました。「みんなで考え、みんなで行う」

2日間にわたり行われた地連別分散会では、各区・一組の予算人員闘争の総括や昇任・昇給等の取組みの総括を素材に、前進した支部・総支部の闘いに学び、直営を維持するために何をすべきかなど、今後の闘いに活かす議論が活発に行われたと聞いています。

組織集会の詳しい内容については、東京清掃機関紙「せいそう労働者」を参照ください。

# 同じ課題を共に 日韓清掃労働者交流

日韓清掃労働者の交流は、アジア太平洋労働者連帯会議（APWSL）による2009年の自治労公共サービス清掃労組の訪韓、2010年の韓国民主一般連盟の訪日に続き、今回は自治労公共サービス清掃の河津委員長を団長、東京清掃染書記長を副団長とした9名が4月21日から24日にかけて韓国清掃労働者と交流してきました。退職者会会員の西田山崎精一さん、準会員の押田さんも参加しました。

の韓国を知るとともに、労働安全衛生・委託・非正規問題・労使交渉・組織化など日韓労組の課題について報告・討論を行いました。

現地での作業体験、徹底分別による再資源化センター、広大な埋立地の見学、民主・労働運動の共同墓地や日本軍（従軍）慰安婦「ナナムの家」歴史館などを通して、生

その中で、韓国が前回の来日交流で持ち帰った施設改善、緊急停止ボタン、安全バー、マフラーの向きなどの課題に強力に取り組み改善させたことに力強さを感じました。

次回の韓国労働者の来日と、さらなる労働者の連帯を確認して来ました。（西田）



韓国国会前で